

## 総務常任委員会

12月18日の委員会で、5件の報告がありました。

### ■愛称「みなくるプラザ」に

4月にオープンする水口地域における複合施設(公民館、コミュニティセンター、自治振興会事務所、多文化共生センター、少年センター等)の愛称が「みなくるプラザ」と決定しました。79点の応募の中から市内在住の小学生の作品が選ばれたもので、「みなくち」と「みんなく」をかけた合わせたものです。

委員会では「鹿深ホールと、



前列：◎田中喜克、○西田 忠  
後列：谷永兼二、岡田重美、橋本律子、堀 郁子、  
戎脇 浩 ◎…委員長 ○…副委員長

慣れ親しんだ名称にできないか」の質問に「施設名称は集会所ですが、鹿深ホールなどの愛称で呼ぶことは可能」との説明でした。

### ■市職員定員適正化計画の見直し

定員適正化計画については、令和5年度813人に対し、4月1日現在の実数が800人となっているなど、計画数を下回っているため、令和6年度は当初計画811人を827人に、令和7年度は804人に対して827人に変更するとの報告でした。育児休暇やメンタルによる休職者の増加、国スポ・障スポの体制強化などを背景に増員を図ったものです。

## 厚生文教常任委員会

委員改選後初の委員会では、所管事務調査で、今年4月に開園予定の「甲南統合認定こども園(レイモンド甲賀こども園)」の整備について、施設概要や今後のスケジュール等の説明に対して、開園後の周辺道路交通の安全性についてなどを確認しました。

また、今年6月に導入予定の「パートナーシップ制度」について進捗状況の報告がなされました。滋賀県も令和6年に導入予定であり、委員からは、県制度とのすみ分けについての指摘もなされました。12月の委員会では、「朝宮保育園の休園の方向性」、「国民健康保険特別会計の基金保有額の推移(減少傾



レイモンド保育園外観パース



前列：◎西村 慧、○山岡光広  
後列：福井 進、木村真雄、北田麗子、中島裕介  
◎…委員長 ○…副委員長

レポート

## 議会活動



前列：◎小倉 剛、○西山 実  
後列：奥村則夫、田中將之、田中新人、瀬古幾司、  
林田久充 ◎…委員長 ○…副委員長

ます。

甲賀市内を走るコミュニティバスが4月から大幅に変更となります。12月15日の産業建設常任委員会では、「再編計画案」が示され、さまざまな視点から意見が相次ぎました。

今回の変更の基本は、「運転手の絶対的な不足」によるもので、利用の少ない便や路線を見直し、または廃止するというもの。通学に必要な路線や便については継続運行されますが、運賃が少くない路線を予約制デマンドへ転換するとしています。

### 産業建設常任委員会

廃止される主な路線は、へ水口〇貴生川甲賀病院・柏木巡回・貴生川巡回、へ土山〇土山本線・通学便以外を予約制デマンドに移行、へ甲賀〇広域水口・佐山線以外を予約制デマンドに移行、へ甲南〇寺庄甲賀病院・環状線、へ信楽〇多羅尾・畑田代線を予約制デマンドに移行。

委員会では、「甲賀病院への直通便がなくなると困る、デマンド化することで、日常的にバスが走らなければ、利用者がますます減るのではないか」朝の通勤・通学時間帯のタクシー利用が集中し、タクシーの配車ができない状況にある」などの意見が出されました。



12月の定例会で議会改革推進特別委員会の委員長および委員数の変更を行いました。これまで委員長は、副議長が

兼ねていたため任期が一年になっていましたが、委員任期(2年)と合わせた委員の互選により選出することになりました。委員の構成は、各党派と無所属から代表5名で構成しています。検討内容は、甲賀市議会基本条例(平成25年9月制定)の検証とともに通年議会や議会選出

監査委員のあり方、さらには議会としての政策サイクルの研究などを予定しています。議会基本条例の活動原則は情報公開と市民参加を基本として

### 議会改革推進特別委員会



前列：◎林田久充、○山岡光広  
後列：田中將之、戎脇 浩、福井 進  
◎…委員長 ○…副委員長

います。具体的には、①市長等の市政運営状況を監視する。②市民の多様な意見を的確に把握し、政策提案等市政に反映させるための議会運営に努める。③市民に対して積極的に情報公開に取り組む。④市民に対して議会の議決又は運営について経緯、理由を説明する責任を果たす。⑤市民の多様な参加を保障するような議会運営に努めるとしています。より具体的な仕組みを創り上げるために1年間かけて検証を進めます。